

# 第1学年5組 外国語科学習指導案

指導者 稲垣 あゆみ

- 1 日時・場所 平成28年10月11日(火) 第5校時 1年5組教室
- 2 単元名 Lesson 6 My Family (本時1/8)
- 3 単元の目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
①間違ふことを恐れず、意欲的に質問をして、分かったことについて伝えようとしている。	②3人称単数現在形を使って、ある人物や、家族を紹介することができる。 ③友達のすることについて尋ねたり、適切に応答したりすることができる。	④ブラウン先生やケン、クミの対話を読んだり聞いたりして、内容に関する質問に適切に答えることができる。	⑤3人称単数現在形についての知識を身に付けている。 ⑥3人称単数を含む肯定文や否定文、疑問文の文構造を理解している。

## 4 単元について

本単元は、Project2「友達にインタビューをしよう」という活動につながる最後の単元で、ALTが生徒に自分の家族を紹介している。3人称単数現在形が導入され、表現の幅が増え、会話も広げられるようになる。本単元では、友達や家族を話題にするので、一般動詞を使用して、自分以外の人について表現する力をつけさせたい。

本学級は、教師の指示を素直に聞き、授業に意欲的に取り組み、積極的に会話しようとする。しかし、習熟度には差があるので、ワークシートで学習内容を確認するなどの書く活動では、ミニティーチャーを活用することで、苦手意識を少なくして前向きに活動に取り組めるようにしていきたい。

このような実態を踏まえ、級友と交流する活動を通して積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養い、最後の理想の家族を紹介する場面ではいろいろな動詞を使って正確に表現できるようにしたい。

## 5 単元の指導計画(全8時間)

時数	目標	主な学習内容	主な活動
1	②	○3人称単数現在形の肯定文 Miki plays tennis.	・「私は誰でしょうクイズ」を行う。 ・インタビューした内容を伝える。(本時)
1	⑤	○動詞のしっぽのsのつけ方と3つの音	・sのつけ方や音を練習する。
1	① ③	○3人称単数現在形の疑問文と応答文 Does Miki play tennis? -Yes, she does. / No, she does not.	・友達がするスポーツについて尋ねたり答えたりする。 ・インフォメーションギャップの活動を行う。
1	① ⑥	○3人称単数現在形の否定文 Miki does not play basketball.	・インタビューで聞いたことを、友達に肯定文や否定文を使って伝える。
3	④ ⑥	○教科書の内容理解	・内容確認のTFやQ&Aを行う。 ・正しい音調で音読する。
1	②	○理想の家族を紹介する。	・理想の家族を作り、友達に紹介する。

6 本時の指導

(1) 目標

- ・クイズや口頭練習を通して、主語によって動詞が変化することを理解し、インタビューしてわかったことを伝えることができる。(外国語表現の能力)

(2) 目標達成のための手立てや工夫

- ・How about you?を会話の中に入れることで、主語によって動詞が変化することを気付かせ、自分の事と第3者の事を区別して表現できるようにさせる。最終的には、3人称単数現在形を活用して理想の家族を紹介させたい。

(3) 学習過程

○学習活動 ・生徒の表れ	・支援、留意点 *評価
<p>○歌を歌う。</p> <p>○教師の質問に答える。</p> <p>○教師のスピーチを聞いて、単元の目標を理解する。 This is my father. He likes beer. He plays golf. This is my sister. She likes meat. She plays tennis.</p> <p>○学習課題を確認する。 <b>動詞につくしっぽのsを使いこなそう。</b></p> <p>○3ヒントクイズを行う。 T:①She likes dogs.②She plays volleyball. ③She teaches Japanese. Who is she? ・S: She is Ms.Okabe!</p> <p>○動詞が主語によって変化することを理解する。 T: I like okonomiyaki. Alice likes okonomiyaki too. How about you? What food do you like? ・S: I like okonomiyaki. T: S likes okonomiyaki too.</p> <p>○リレー形式で好きなものを伝える。 ・A: I like natto. ・B: A likes natto. I like pizza. ・C: A likes natto. B likes pizza. I like takoyaki.</p> <p>○友達にインタビューをする。 ・A:What food do you like?・B:What food do you eat? ・C:What sports do you play?・D:What sports do you like?</p> <p>○インタビューしてわかったことを班で伝える。 <b>A: C likes sushi. How about you? B: I like sushi too.</b></p> <p>○友達のことについてわかったことを書く。 ・A likes ramen. B likes takoyaki. I like okonomiyaki.</p>	<p>・既習の質問をすることで、普段発表しない生徒も挙手できるように励ます。</p> <p>・家族の写真を見せて紹介する。</p> <p>・単元の最後の活動を見せて意欲化を図る。</p> <p>・プレゼンテーションで、さまざまな人物を登場させたクイズを行うことで、視覚的に動詞の後ろにつくsに気付かせる。</p> <p>・主語がIとYou以外になったときに一般動詞の後ろにsがつくことを確認する。</p> <p>・つまずきそうな生徒がいる班では、教師のあとについて言うように励ます。</p> <p>・教師がデモンストレーションを行って伝え方を提示する。</p> <p>・一通り発表した後に評価をすることを伝える。</p> <p>*主語によって動詞が変化することを理解して友達に伝えることができたか。 (相互評価・点検)</p> <p>・最後の1文はIから始まる文を1つ書くように指示する。書くことが遅い生徒に対しては例文を参考にして書くように励ます。</p>

